

# 「健康・スポーツ科学研究」

## 投稿に関する申し合わせ

### 1 原稿の提出

- (1) 「健康・スポーツ科学研究」(以下「研究」という。)に投稿を希望する者は、編集委員会が定める期限までに、所定の「執筆申込用紙」に必要事項を記入の上、編集委員長に提出しなければならない。
- (2) 「研究」の原稿は、編集委員会が定める提出期限までに、所定の「投稿用紙」に必要事項を記入の上、編集委員長に提出しなければならない。
- (3) 投稿原稿は、フロッピー・ディスクでの投稿を原則とし、出力した原稿を添付する。

### 2 原稿の種類

投稿は、総説、原著 (Original)、報告 (Report)、及び資料 (Material) に区分する。

- (1) 原著は、健康科学及びスポーツ科学に関する研究を深める意義のある論文で、未発表のものとする。
- (2) 報告は、研究・調査報告などで論文の体裁をなしたもので、未発表のものとする。
- (3) 資料は、学会等の内容報告、討論、座談会、書評など、教育研究に有益な資料となるものとする。

### 3 原稿の体裁

- (1) 原著は、原則として、400字詰原稿用紙35枚以内 (図、表、写真及び文献を含む。) とする。
- (2) 報告及び資料は、原則として、400字詰原稿用紙20枚以内 (図、表、写真及び文献を含む。) とする。
- (3) 本文、図、表及び写真の論文中に占める比率は、関連誌を参照し、論文全体がほとんど図、表及び写真で占有されることのないように留意しなければならない。
- (4) その他、原稿の体裁は、日本体育学会『『体育学研究』寄稿の手引き』(『体育学研究』第35巻第4号所収) に準ずるものとする。

### 4 引用・参考文献の記載書式

- (1) 引用・参考文献の記載は、下記の例に従うものとする。

欧米文献

  - (イ) 著書：著者名、書名、発行地名、発行所名、発行年、引用又は参照ページ  
〈例〉 Basmajian, J. V.: Muscles alive. 4th ed., Baltimore: Williams and Wilkins, 1978, pp. 45-52
  - (ロ) 論文集：執筆者名、論題 in 編者名 ed (s).、論集名、発行地名、発行所

名、発行年、引用又は参考ページ

〈例〉Spielberger, C. D. "Theory and research on anxiety." in Spielberger, C. D. ed Anxiety and behavior. New York: Academic Press, 1966, pp.56-60

(ハ) 雑誌論文：執筆者名、論題、雑誌名、巻号、発行年月、引用又は参照ページ

〈例〉Baratta, R: The role of the antagonist musculature in maintaining knee stability. The American Journal of Sports Medicine, vol. 16, No. 2, 1988, p231  
日本文献

(イ) 著書：著者名『書名』発行所名、発行年、引用又は参照ページ

〈例〉高橋和巳『心地よさの発見』三五館、1993年、392ページ

(ロ) 論文集：執筆者名「論題」編者名『論集名』発行所名、発行年、引用又は参考ページ

〈例〉山内裕一「心身医学的に見た糖尿病」日本糖尿病学会編『糖尿医学の進歩、第七集』診断と治療社、1973年、110-121ページ

(ハ) 雑誌論文：執筆者名「論題」『雑誌名』巻号、発行年月、引用又は参照ページ

〈例〉天野義裕「走動作の習熟」『体育の科学』35巻2号、1985年、115ページ

(2) 欧米文献で訳書があるものについては、下記の例にしたがい、欧米文献、日本文献の順に標記する。

(3) 論文末に「参考文献」欄を設ける場合、欧米文献、日本文献の区別なく、また、著書、論文集、雑誌論文の区別なく、文献を著書名のアルファベット順に並べる。

## 5 原稿の校正

- (1) 投稿原稿の校正は、原則として、著者校正に限り、二校までとする。
- (2) 著者校正の日数は、原稿到着後一週間以内とする。

## 6 改廃

この申し合わせの改廃は、編集委員会の発議によって、センター拡大教授会が行う。

付則 この申し合わせは平成10年10月8日より適用する。